NIE実践報告

1．タイトル：学級新聞をつくろう

2．学校名

和歌山県田辺市立中山路小学校

3．実践者名（代表者名）

政井　浩二

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科･総合的な学習の時間

6．単元（本時の学習課題）名

学級新聞の担当を決めよう

7．目標（狙い）

身の回りの出来事に興味を持ち、表現を工夫し、わかりやすく正確に伝えられる学級新聞をつくる。
一人ひとりが役割をもち、自分の責任をしっかりと果たす。

8．評価の視点

〇意欲を持って活動に取り組めたか。(スクラップ･取材･会議など)
〇文章の構成を考え、見出しなど、表現を工夫して書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「インタビュー名人になろう」(教科書教材:光村図書)[国語科2時間]　「工夫して発信しよう」(教科書教材:光村図書)[国語科2時間]　「学級新聞を作ろう」[総合的な学習の時間6時間]　合計10時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1.めあての確認をする。『新聞記者になろう』
　〇自分が興味のある分野について理解しよう　　〇学級新聞の担当を決めよう
2.各自のスクラップに目を通す。
　・どんな記事を多く集めているか。　・どんな傾向が見て取れるか。
3.担当の役割分担をしよう。
4.次時予告
(留意点)
･本時の学習の流れを示し、児童に活動内容を知らせ、めあてを確認することで、授業の見通しを持たせる。
･スクラップした記事に目を通させ、記事のジャンル分けをさせる。ジャンル分けができにくい児童には助言する。どんなジャンルがあるかは、あらかじめ提示しておく。
･ジャンル分けしたあと、どんな記事を多く集めているか、児童の傾向に着目させる。
･興味･関心のある分野の記事を書く担当に立候補させる。分野が重複した場合は、話し合わせ、他の分野に移れ

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　一人に一つ役割を持たせたことで、責任感が生まれ、意欲的に活動することができた。身近なニュースを取り上げ、廊下に掲示したことで、読者から感想を言ってもらうことができ、児童は喜んでいた。また、反省点や改善点も見つけられた。そして、次も作りたいという意欲につながった。(さらにわかりやすく、興味を持って読んでもら

12．成果と課題

　新聞を活用したことで、日頃から目にすることがなかった新聞に、毎日目を通そうとする児童が多くなり、テレビなどの時事ニュースにも興味を持ったり、それに対して自分の考えを持ち、話し合ったりするようになった。新聞記事を読むのが楽しくなったと答えてくれる児童も出てきた。
　ご協力頂いている新聞社から、社会見学や新聞づくりについての出前講座など、いろいろと働きかけて頂いたのにもかかわらず、時間の関係でうまく活用できなかったことが課題。今後活動を続けていくなら、授業計画だけでなく、課外活動の時間も含めた計画の立案が必要だと感じた。